

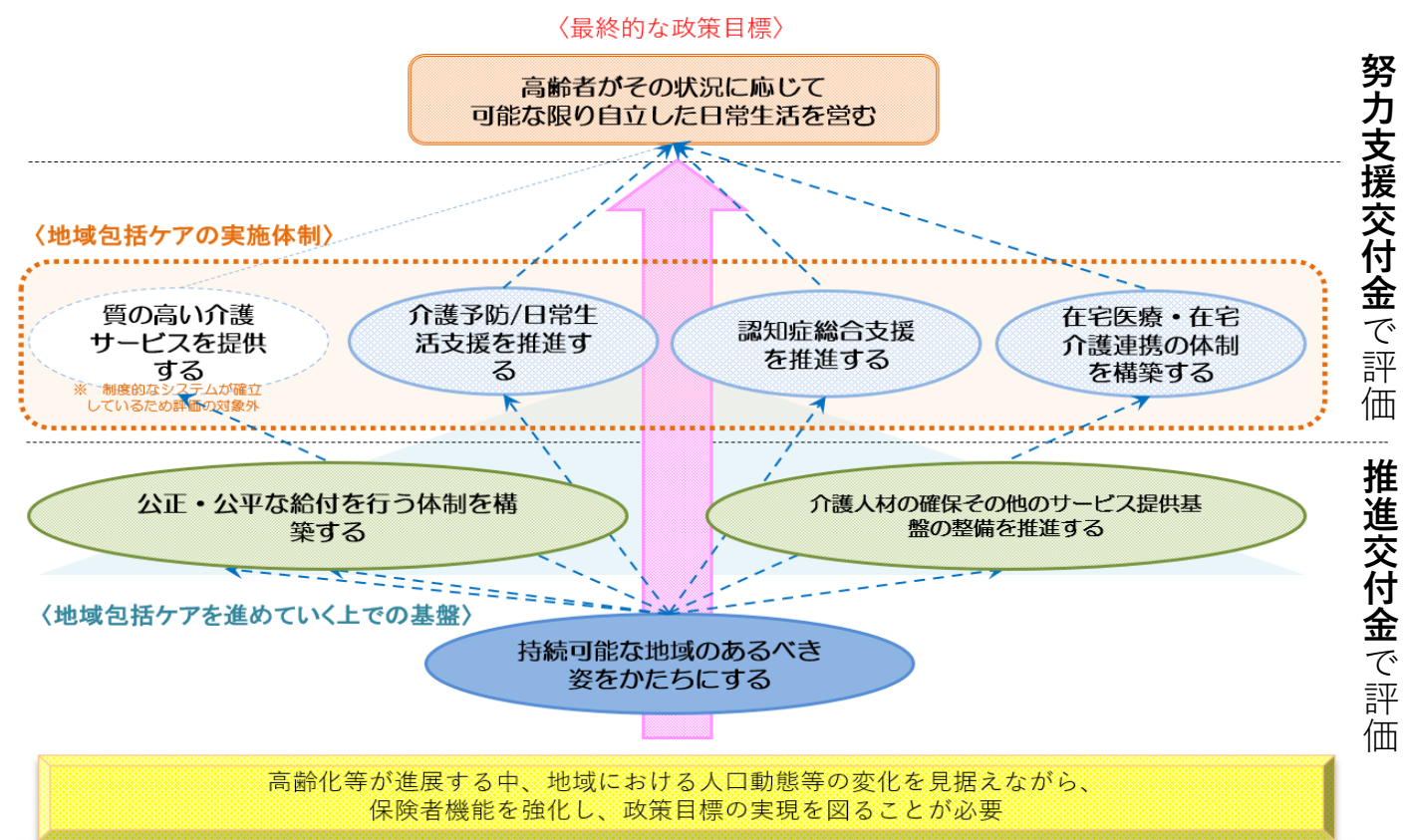
令和6年度保険者機能強化推進等交付金について（報告）

第3回市川市社会福祉審議会	資料3-①
令和6年12月25日（水）	

■ 交付金の概要

- 高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた市町村等の取組みを促進するため、平成29年度介護保険法改正により**保険者機能強化推進交付金**（＝推進交付金）が、さらに公的保険制度における介護予防の位置づけを高めるため令和2年度に**介護保険保険者努力支援交付金**（＝努力支援交付金）が創設された。
- 取組み体制や実施状況に対する達成度の評価と、取組みによる成果（アウトカム）に応じて、全国の自治体に、人口規模別の枠組みの中で交付金が配分される。交付金は、各保険者の介護保険事業特別会計に充当され、介護予防・健康づくりや地域包括ケアシステムの推進に資する事業等に活用される。

■ 各交付金の役割分担の明確化（R6～）



出典：国資料「令和6年度見直し概要」（※交付金の略称を太字加工）

■ 交付金の計算（R6～）

①基本分

=

本市の総得点

×

本市の第一号被保険者数

×

国の予算額（第一号被保険者規模別）

各市の総得点

×

各市の第一号被保険者数

の規模別

+

②アウトカム指標配分枠

アウトカム指標の評価得点に応じて配分

+

③保険者機能強化推進枠

前年度から引き続き上位の自治体や、順位が相当割合改善した自治体等に配分

➡ 交付金額 = ①②③の合計額

■ 評価指標（令和6年度）

1. 保険者機能強化推進交付金

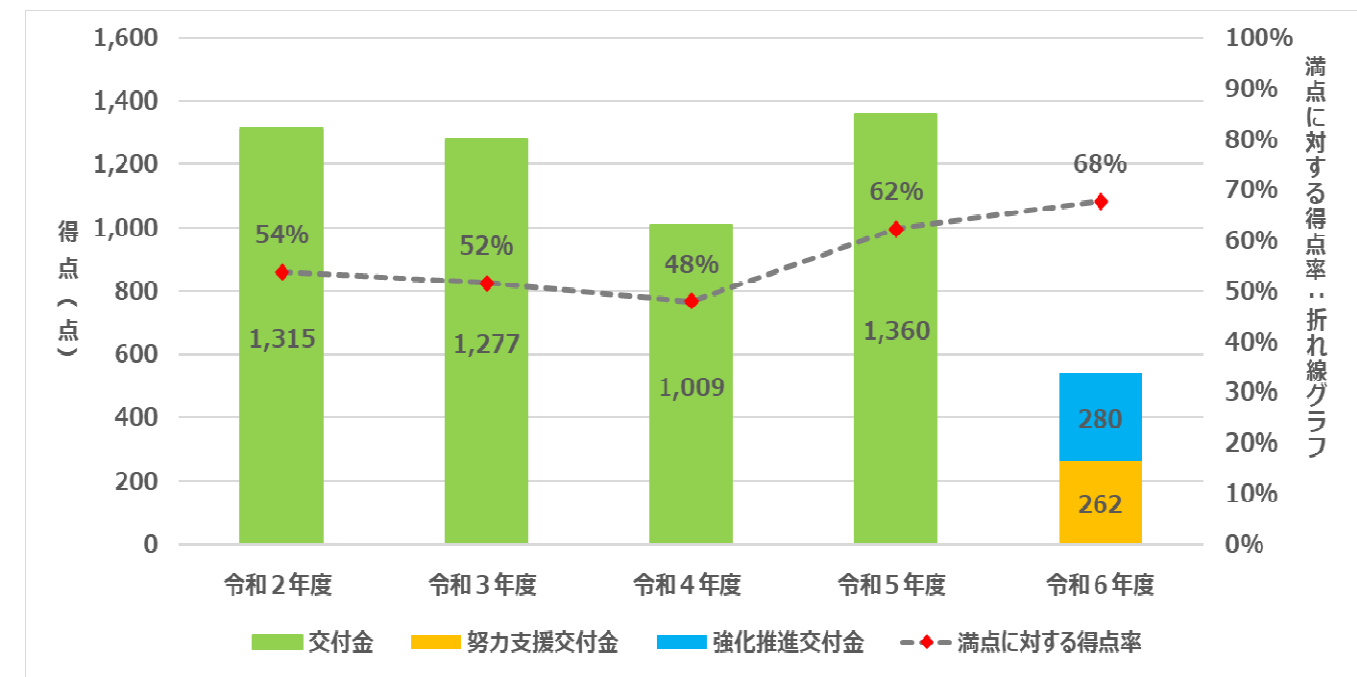
	満点	市川市	市川市 得点率
保険者機能強化推進交付金 得点合計（点）	400	280	70%
I 持続可能な地域のあるべき姿をかたちにする	100	75	75%
(i)体制・取組指標群	64	60	94%
(ii)活動指標群	36	15	42%
II 公正・公平な給付を行う体制を構築する	100	92	92%
(i)体制・取組指標群	68	68	100%
(ii)活動指標群	32	24	75%
III 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する	100	68	68%
(i)体制・取組指標群	64	56	88%
(ii)活動指標群	36	12	33%
IV 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む	100	45	45%
成果指標群	100	45	45%

2. 介護保険保険者努力支援交付金

	満点	市川市	市川市 得点率
介護保険保険者努力支援交付金 得点合計（点）	400	262	66%
I 介護予防/日常生活支援を推進する	100	64	64%
(i)体制・取組指標群	52	48	92%
(ii)活動指標群	48	16	33%
II 認知症総合支援を推進する	100	67	67%
(i)体制・取組指標群	64	64	100%
(ii)活動指標群	36	3	8%
III 在宅医療・在宅介護連携の体制を構築する	100	86	86%
(i)体制・取組指標群	68	68	100%
(ii)活動指標群	32	18	56%
IV 高齢者がその状況に応じて可能な限り自立した日常生活を営む	100	45	45%
成果指標群	100	45	45%

	満点	市川市	市川市 得点率
推進交付金＋支援交付金 得点合計（点）	800	542	68%

1. 評価結果の推移と近隣市比較



■評価結果の推移

得点		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
得点の合計	満点	2,445	2,475	2,105	2,185	800
	市川市	1,315	1,277	1,009	1,360	542
	得点率	54%	52%	48%	62%	68%
交付金額		8,729万円	8,115万円	7,850万円	8,451万円	8,170万円

令和6年度より全体の得点配分が見直されたため、対前年度比で得点としては下落しているが、得点率は上昇しており、相対的な評価は向上している。また、介護保険保険者努力支援交付金が始まった令和2年度以降、得点率は下降傾向にあったが、令和5年度以降上昇している。

■参考（令和6年度実績・近隣市は総得点の順）

R6	満点	市川市	柏市	松戸市	浦安市	船橋市	鎌ヶ谷市
強化推進交付金の得点	400	280	241	221	188	227	164
得点率		70%	60%	55%	47%	57%	41%
努力支援交付金の得点	400	262	272	255	282	221	199
得点率		66%	68%	64%	71%	55%	50%
交付金の合計	800	542	513	476	470	448	363
得点率		68%	64%	60%	59%	56%	45%

2. 主な結果と今後の取組み方針等

1. 保険者機能強化推進交付金

■評価結果について（得点率 R6…70%←R5…68%）

・得点率は70%で、前年度とほぼ同率である。

■得点の低い主な項目

・介護の仕事の魅力を伝達する研修の修了者数等（得点率 33%）

「Ⅲ 介護人材の確保その他のサービス提供基盤の整備を推進する」については、本市の得点率は68%となっており、近隣市と比べて得点が高い。しかし、その中で「介護の仕事の魅力を伝達する研修の修了者数等」については、得点率の全国平均が20%と低く、本市の得点率も33%となっている。
結果を踏まえ、入門的研修や介護支援専門員への研修の修了者の増加に繋がるよう取り組んでいく。

2. 介護保険保険者努力支援交付金

■評価結果について（得点率 R6…66%←R5…54%）

・得点率は66%で、前年度と比べ2割程度上昇している。

■得点率上昇の主な理由

・介護予防と保険事業を一体的に実施しているか。（得点率 R6…100%←R5…0%）

令和5年度より介護予防と保健事業の一体的実施の取り組みを開始したため。
KDB（国保データベース）システム等を活用し、地域の健康課題を分析し課題解決に向けた取組を実施として、通いの場への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）や、高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）を実施した。
今後も保健部局と連携し、一体的実施の取り組みを推進していく。

■得点の低い主な項目

・地域ケア会議における個別事例の検討割合（個別事例の検討件数/受給者数）（得点率 0%）

受給者あたりの地域ケア会議における個別事例の検討割合は、各自治体の人口比等もあり、全国の上位7割に入らず、得点率が0%となった。市川市および高齢者サポートセンターが主催し、「地域ケア個別会議」を実施している。「第9期市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」においても、年間で60件の検討数を目標値としており、適切な検討件数であると認識している。

・高齢者人口当たりの生活支援コーディネーター数（得点率 0%）

インセンティブ交付金の要件として専任の生活支援コーディネーターを配置することが求められているが、本市は第1層、第2層とも兼務にて職員を配置しているため、得点がつかない。
令和6年度より第2層の生活支援コーディネーターについては、認知症地域支援推進員との兼務にて専任職員として高齢者サポートセンターに配置している。

※アウトカム指標（1・2 共通）

■評価結果について（得点率 R6…45%←R5…45%）

・得点率は45%で、前年度と同率である。

■得点の内訳

「短期的な要介護度の変化」は、軽度（要介護1・2）および中重度（要介護3～5）とも、前回より得点率が上昇している。一方、「長期的な要介護度の変化」は、軽度・中重度とも、前回と比べて得点率が下がっている。「健康寿命延伸の実現状況」（＝要介護2以上の認定率およびその変化率の状況）は、前回よりも得点率が下がっている。

「長期的な要介護度の変化」及び「健康寿命延伸の実現状況」について、新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的取扱い（認定調査を行わずに有効期間を12か月延長）により得点率が減少し、「短期的な要介護度の変化」については、認定調査が再開され被保険者の心身の状況が反映された適正な認定がなされるようになったため、得点率が上昇したと考えられる。
2024年から従前の取扱いに戻っており、今後の認定状況により注視していく必要がある。